

組合の楽しい便り投稿歓迎します。

No455

ラベルニュース

東京都ラベル印刷協同組合

〒111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

令和 5 年 9 月号

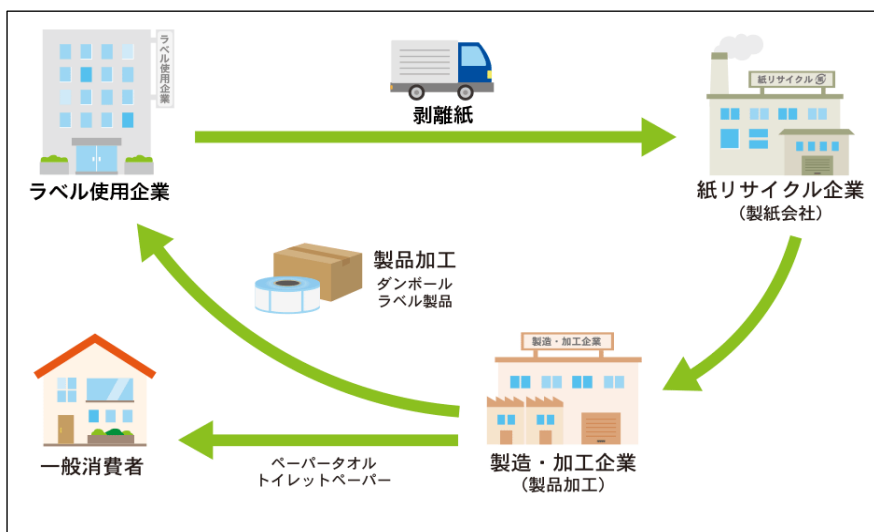
編集:広報・情報システム委員会

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

一般社団法人ラベル循環協会を設立

王子タック リンテック OSP サトー4 社で

使用済みの剥離紙などの再生利用めざす



循環サイクルモデル構想(簡略図)

③リサイクルの現状の可視化と情報発信
設立の目的については、ホームページに左記のように書かれています。

「今やシール・ラベル(以下ラベル)は私たちの生活に当たり前に存在するモノです。貼られた物を彩り、物の情報を表示したりと様々な場面で日々活躍しています。そしてシンプルな構造で安価であるため脱炭素社会でも活躍できるエコシステムと考えています。しかし、この活躍の裏で一つ課題を抱えています。

それはラベルの粘着面を保護するための台紙(以下剥離紙)が、ラベルが使用された後に不要物として扱われていることです。

この課題は個社で解決はできません。ラベルを使用する企業、製造する企業、そして剥離紙を再利用する企業、その他関連する企業に限られた資源を有効活用するということに意図が課題解決には必要です。

ラベル循環協会はラベルにおける循環型社会の実現を目的に設立致しました。

環境製品やサービスを提供する団体ではありません。皆様と一緒に循環型社会理念を推進し、環境負荷軽減に寄与して参ります。」

シール・ラベルの抜きカスは産業廃棄物として処理されているが、当組合員の半数は日本ウエストにRPF(固形燃料)の原料として処理を依頼しサーマルリサイクルしています。

しかし、エンドユーザーではシール・ラベルを使用した後の剥離紙は廃棄するしかないのが現状で、環境問題の高まりの中で、何とかリサイクルできないのかという声がありました。

しかし、剥離紙はシリコン処理をしてあるために簡単に再生利用することが技術的に難しく、できないのが現状です。そこで同協会がこうした問題、課題を解決しようと設立されたもので、ラベル使用企業、運搬企業、紙リサイクル企業、製品加工企業、タック紙製造企業、ラベル製造企業などの参加を望んでいます。

シール・ラベルの剥離紙の処理が大きな社会問題になっている今、王子タック、リンテック、OSP、サトーの四社は、シール・ラベル業界における資源循環モデルの構築とその普及促進の目的の下、二〇二三年五月末に一般社団法人ラベル循環協会「J-ECO」を設立しました。

J-ECOはラベル業界における循環型社会を創造し、もって循環型社会を活性化することを目的としています。目的を達成するために、次の事業を行うとしています。

①使用済み剥離紙の再生資源化と普及促進
②リサイクル技術確立の支援

タック紙の三回目の値上げに対し 連合会が協賛会に対し是正を要望

全日本シール印刷協同組合連合会（田中祐会長）は、タック紙の三回目の値上げのお願いが組合員に届いているために、協賛会に対して連合会と各協同組合名で適正な値上げ幅と開始時期について再考してほしいと文書によるお願いをしました。

■価格改定におけるご配慮に関するお願い（協賛会向け）

タック紙の値上げは一昨年の十月と昨年の八月に実施されており、今回で実に三回目の値上げとなるが、前回の値上げもまだ得意先に認めてもらえない組合員も多いことから、今回の値上げはまさに死活問題にもなりかねないと危惧する声が多いのが現状。

すべての物が上がっている今日、値上げそのものはある程度の理解はできても小規模零細企業の多い中、各社横並びの値上げ幅と開始時期については再考を強く促したい。

連合会では組合員が得意先に対して値上げの理解を

会員企業に来ております。（二〇二一年十月、二〇二二年八月、今回計三回目）この件については、当連合会傘下の各組合でも対応に苦慮しており、「価格改定」の妥当性について当連合会理事会などでも検討を重ねて参りました。

協賛会各社様を取り巻く外部環境の激変を十分に勘案しながらも、「サプライチェーン全体の共存共栄」の観点、ならびに「組合員企業の公平な競争環境を維持し、各社が切磋琢磨してシール・ラベル印刷産業の持続的発展を図る」という観点から、「業界横並びの思考停止の値上げでなく、各社の原価を勘案した適正な値上げ幅としていただきたい」、「値上げの開始時期については原燃料価格、電力・物流経費の上昇の推移を見守りながら可能な限り引き延ばして頂きたい」という結論が当理事会で決議されました。

諸々のご事情があるかと存じますが事情勘案の上、標記の件につきまして何卒ご理解を賜ったご対応をお

願ひ申し上げます。

今後もシール・ラベル印刷業界発展のために格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

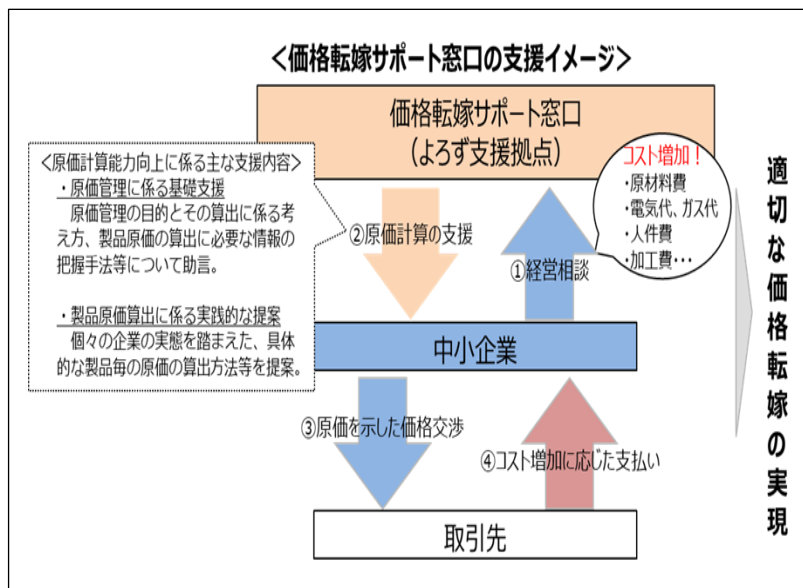
ラベル関連ミニ機材展

五年ぶりの開催目指す

毎年恒例となっていた「ラベル関連ミニ機材展」は、新型コロナウイルス感染症によつて、平成三十年十一月十日の第二十回を最後に開催されておりませんでした。が、コロナ騒動も一段落したため、来年の二月か三月に開催予定で、現在その準備が進められています。

この間何回か企画されては中止という事をくり返していましたが、三年前にオンライン開催はしたものの、リアルでの開催を求める声が多く、今回正札シール、神奈川とも話し合いを行い、三協組合同での開催が基本的に合意されました。会場は都立産業会館浜松町館か台東館が候補に挙がっています。

中小企業庁がサポート体制を整備し 下請中小企業の価格交渉・価格転嫁を後押し



原材料価格やエネルギー費、労務費などのコストが上昇する中、コスト増を転嫁サポート窓口を新設し、下請中小企業の価格交渉・価格転嫁を後押しします。

中小企業庁が実施した令和5年3月の「価格交渉促進月間」に関するアンケート調査では、「価格交渉を申し入れて応じてもらえなかった」、または「発注側から価格交渉・価格転嫁できる環境を整備することが必要です。そのためには、コストの価格転嫁をはじめとした下請取引の適正化を行うことが欠かせません。」

「協議にに応じてもらえなかった」または「減額のため協議申し入れがあった」と回答した割合も全体の約一六％となり、二極化が進む結果となりました。

また、民間の信用調査会社による調査では、価格転嫁ができた企業のうち多くが、「原価を示した価格交渉」が有効であったと回答があり、効果的な価格交渉のためには、コストの増加分を定量的に把握し、原価を割り出して提示することが有益であるという事例も報告されています。

こうした「価格交渉促進月間」などの調査結果を踏まえ、中小企業庁では、中小企業などが、原材料費やエネルギー価格、労務費などの上昇分を、発注側企業に適切に価格転嫁するための支援体制を強化すべく、全国四七都道府県に設置している経営課題に対応する

ワンストップ相談窓口である「よろず支援拠点」に「価格転嫁サポート窓口」を新設します。

価格転嫁サポート窓口では、価格交渉に関する基礎的な知識や原価計算の手法の習得支援を通じて、下請中小企業の価格交渉・価格転嫁を後押しします。

また、商工会・商工会議所等においても、「価格交渉ハンドブック」の活用等により、中小企業の価格転嫁を支援する全国的なサポート体制を整備しています。

シール印刷業界ではタック紙メーカーが八月二十日や九月一日から、紙ベースで十五％、フィルムベースで一〇パーセントの値上げを通告しており、過去二回の値上げも半数近くがまだ認められていない現状に三回目の値上げに頭を抱えています。

■東京都よろず支援拠点

港区新橋一の十八の六

共栄火災ビル一階

電話〇三・六二〇五・四七

**資金繰りが厳しく事業資金を借りたいけれど、
借入に必要な担保不動産がない・・・ そんな中
小企業経営者の皆様、ABL をご存じですか？**

(tokyo.lg.jp)

(tokyo.lg.jp)

■秋バテとは

「秋バテ」という言葉をご存知ですか？過酷な夏も過ぎ去り、過ごしやすいたらずの秋に入ったのにカラダがだるい、疲れがとれない、ヤル気が出ない……、そんな症状に心当たりのある方は、もしかしたら「秋バテ」かもしれません。

No178 健康がいちばん！

夏バテよりも怖い「秋バテ」

夏の疲れをリセットすることが

「夏バテ」に比べるとあまり耳馴染みのない「秋バテ」ですが、秋バテで悩む人は意外と多く、最近少しずつ認知されるようになってきました。主な症状は、夏バテに似た以下のような症状です。

□ カラダがだるい
□ 疲れがとれない
□ ヤル気が出ない

□ 頭が痛い

□ めまいがする

□ 食欲がない

■秋バテの原因は

では、秋バテはなぜ起こるのでしょうか？その原因は、秋の大きな変化と夏の疲れにあります。

カラダは自然環境とバランスを取りながら健康を保っているため、気候が変化すれば、その変化に合わせてカラダも順応させなければなりません。暑く湿気の多い夏から、涼しく乾燥した秋へ変わる気候の変化にカラダもついて行くのがやっとなです。

さらに「女心と秋の空」と言われるように、秋は天

気の変化と一日の寒暖差がとても大きい季節です。日中はまだ夏を引きずったかのように暑いのに、朝晩は驚くほど冷え込むので、カラダも体温調節に必死です。そんな変化の多い秋に、夏の疲れを引きずったまま突入してしまうと、カラダは悲鳴をあげて、秋バテの症

状がみられるようになるのです。

■疲労回復と変化への順応

秋バテにならないためには、まずは変化に対応できるだけの体力をつけることが大切です。夏の疲れをしつかりリセットして、元気で健やかなカラダを取り戻しましょう。

漢方では、湿気の多い梅雨、夏に胃腸は弱りやすく、逆に乾燥しやすい秋冬には食欲も上がり調子も出てくると言われています。秋は「食欲の秋」と言われるように、夏に比べると秋

は、本来であれば胃腸のコンディションがよくなる季節。秋バテで食欲がないなど胃腸の弱りを感じている人は要注意です。

カラダを動かす原動力は食べたものから作られます。胃腸が弱っていると元気も出ませんよね。胃腸に不安を感じている人は、まずは胃腸を整えることから始めることが先決です。

また、秋の特徴である乾燥に対する備えも大切です。漢方では、鼻やのど、気管支、肺などの呼吸器系

や皮膚や粘膜、さらに大腸などは乾燥に弱いと言われています。特に体力が弱っているときは風邪にかかりやすいものです。体力回復と合わせて、乾燥対策も忘れずしておきたいものです。

■秋バテは旬の食材で

秋バテには、誰にでも簡単に始められる食養生がおすすめです。ポイントはおすすめで、旬の旬をいただくこと。旬の食材は美味しく栄養が豊富なだけでなく、その季節のトラブルに対応した嬉しい働きがたくさん詰まっています。

秋バテ予防にピッタリな「疲労を回復しカラダを元気にする」、「胃腸を整える」、さらに「カラダを潤おす」と言われる旬の食材は、山イモ、サツマイモ、かぶ、ニンジン、しいたけです。夏の疲れがひどく、なかなか回復しないという方には漢方薬がおすすめです。漢方薬のチカラを借りて、カラダの中からしっかりと元気を補い確実に疲労を改善しましょう。

【参考資料】

ピナクル®アジャスターを販売 刃型の抜き不良やセパへのダメージ解決

株式会社塚谷刃物製作所
(大阪府八尾市楠根町5-30) 電話072-996-8770)は、二〇一八年七月に開催したIGAS二〇一八で、参考出展したピナクル®アジャスター(PINACLE®Adjuster)を二〇二三年七月十八日より正式販売を開始しました。輪転方式での抜き加工部は、ピナクルダイ®を貼り付けるマグネットシリンダーとアンビルロー(受け胴)の構成となっており、平圧方式の抜き加工部のように都度、



ピナクルダイとマグネットシリンダー ハンドル部



ピナクルアジャスター全体

ラベル基材に対して刃型(刃先)の食い込み量を管理(コントロール)することが難しく、刃型(刃先)の食い込み強弱による、抜き不良や、セパレーターへのダメージ(傷深さ)という問題が起きてまわっています。ピナクル®アジャスター(PINACLE®Adjuster)は、二〇一八年七月に開催したIGAS二〇一八で、参考出展したピナクル®アジャスター(PINACLE®Adjuster)を二〇二三年七月十八日より正式販売を開始しました。輪転方式での抜き加工部は、ピナクルダイ®を貼り付けるマグネットシリンダーとアンビルロー(受け胴)の構成となっており、平圧方式の抜き加工部のように都度、

ピナクル®アジャスター(PINACLE®Adjuster)に交換することが可能です(諸条件有ります)。ピナクル®アジャスター(PINACLE®Adjuster)のダイヤルハンドルを回すことで、GAP(アンダーカット)を0.001mm単位で調整が行えますので、刃型(刃先)の食い込み量を常に管理することが可能です。※ピナクル®アジャスター(PINACLE®Adjuster)・全体

※ピナクル®アジャスター(PINACLE®Adjuster)・ハンドル部
基本仕様
・ ロール径 最小径φ100
・ ロール有効面長 350mm
・ ロール有効面径 420mm (ギアの取付位置で変わります)
・ GAP (アンダーカット) 調整域 0.04mm
・ GAP (アンダーカット) 調整単位 0.001mm